

実践紹介カード (小学部)

実践紹介カードの説明

- ・「対話性を重視した学び」に基づいた授業作りにおいて、実践で取り組んだことをまとめました。
- ・「授業作りのポイントの具体化」で示したものの一部について、実践を紹介しております。
- ・小学部の授業作りのポイント
「『やってみたい』という思いを育む授業作り～個々の思いを活かして」

ポイント1 分かりやすい環境を整える

ポイント2 関わりは教師を基盤として、徐々に広げていけるようにする

ポイント3 自己選択・決定できる場面を設定する

ポイント4 他者の思いに触れる機会を設定する

授業作りのポイント | 「分かりやすい環境を整える」
〈具体化〉・動機が生じやすい環境を整える

絵本への興味を引き出す具体物を活用する

さわっていい？



ぼくが、
回してみるよ。

【実践の紹介】

・絵本のなかに飛行機のプロペラが出てきたので、類似したゴム付きのプロペラや、腕を回す動きなどを、具体的に示した。

【実践を振り返って】

・これまで取り組んだ、回ったり転がったりする遊びの体験と重なり、強い興味を示す様子が見られた。実際に具体物があることで、分かりやすく、強く興味をひくことにつながった。

授業作りのポイント | 「分かりやすい環境を整える」
〈具体化〉・動機が生じやすい環境を整える

活動の動機が生じる導入を設定する

信号がある～



街には
何があるかな？

【実践の紹介】

・「街作り」の制作において、街のイメージを共有したり、広げたりするために、学校近辺の様子を見る時間を設けた。標識や信号機、横断歩道、道路を走る車やトラックなどに注目できるように言葉を掛けた。

【実践を振り返って】

・街中の様子を見て、「〇〇があるね」、「家の屋根は〇〇だね」と、自ら発見したことを伝える児童がいた。街中にある建物などに注目を促す際、作品作りのことを考え、特徴的な要素を言語化することが必要だと感じた。

授業作りのポイント | 「分かりやすい環境を整える」
〈具体化〉・動機が生じやすい環境を整える

意欲が高まる目的を設定する



ぼくたちが
作ったよ。

【実践の紹介】

- ・導入時に、大きな秘密基地を示すことで、段ボールに色を付ける目的を共有した。
- ・屋根と壁それぞれに色を塗った後、組み合わせて秘密基地にした

【実践を振り返って】

- ・大きな秘密基地を見たことで、意欲的に活動に取り組めた。「病院にする」など目的をもって取り組める児童もいた。また、振り返りの時間に、バラバラに作業していた屋根と家を組み合わせたことで、児童の達成感や充実感が得られた。

授業作りのポイント 2 「関わりは教師を基盤として、徐々に広げていけるようにする」
〈具体化〉・目的を共有して、友達と関わる場面を設定する

二人組で完成を目指す活動を設定する

いいよ!



いっしょにぬって
いい?

【実践の紹介】

・友達の活動の様子に関心をもつことができるように、二人組で一枚の絵を完成させる活動を設定した。活動において、友達の表現と同じ点であったり、違う点であったりを知ることができるように、言葉掛けをした。

【実践を振り返って】

・友達が「ここ塗っていい?」と聞くと、少し迷いながらも「いいよ」と受け入れる様子が見られた。互いの塗る場所を考えて、近づいたり距離をとったりしながら、塗り進めることができた。

授業作りのポイント 2 「関わりは教師を基盤として、徐々に広げていけるようにする」
〈具体化〉・目的を共有して、友達と関わる場面を設定する

みんなで完成を目指す活動を設定する

なに持ってるの？



これは〇〇さんの字だね。

【実践の紹介】

・友達と協力して、教室に隠された平仮名を探す「名前の平仮名探しゲーム」を行った。みんなで探すなかで、友達の様子を意識したり、一緒に探したりできることを期待して、設定した。

【実践を振り返って】

・自分が探した平仮名を「〇〇さんの字だ」と友達のところを持っていったり、友達が見付けた平仮名を覗いて、声を掛けたりしていた。また、読むことが難しい児童も、カードを探したり、友達の言葉掛けを受けてカードを貼ったりすることができた。

授業作りのポイント 2 「関わりは教師を基盤として、徐々に広げていけるようにする」
〈具体化〉・目的を共有して、友達と関わる場面を設定する

互いの遊びが見合える環境を設定する



何しているの
かな?



おもしろそう!

【実践の紹介】

・友達や教師の遊んでいる姿が見えるように、遊びの場を配置した。いろいろな遊びに興味をもち、新たな「やってみたい」という気持ちが生まれるように、互いの遊びが見えるような環境を設定した。

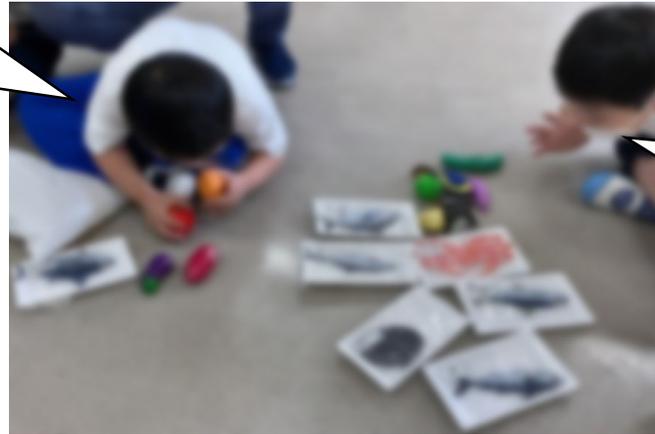
【実践を振り返って】

- ・友達が楽しそうに遊んでいる姿を目にすることで、これまであまり関心がなかった遊びに興味をもつ児童がいた。
- ・新たな遊びに挑戦しようとする児童の内面を想像し、教師がタイミングよく働きかけたり言葉掛けしたりすることが必要だと感じた。

授業作りのポイント 2 「関わりは教師を基盤として、徐々に広げていけるようにする」
〈具体化〉・教師が仲介し、子ども同士をつなぐ

自分の選択したものを見せ合う場面を設ける

バスに乗って、
野菜を買いに
行ったよ。



魚もこんなに
買ったよ。

【実践の紹介】

・「バスに乗って買い物する」という内容の絵本で、読み合い遊びをした。買い物ごっこでは、野菜や魚など、それぞれが思い思いのものを買った後、互いに見せ合うような展開に発展するよう、具体物やカードを豊富に準備した。

【実践を振り返って】

・絵本の世界を活用することで、遊びへの意欲を喚起できた。写真や具体物を使って買い物ごっこを行ったことで、それぞれが買ったものを並べて楽しむ様子が見られた。また、その様子を気にして見るという関わりにもつなげることができた。

授業作りのポイント 2 「関わりは教師を基盤として、徐々に広げていけるようにする」
〈具体化〉・教師が仲介し、子ども同士をつなぐ

遊びを通して関わり合う場を設ける

いくよ～！
回すよ～！



くるくる回るの
楽しい！

【実践の紹介】

・一人遊びだけでなく、協力し合って楽しむ遊びを取り入れることで、関わり合いが生まれるよう工夫した。

【実践を振り返って】

・一人ではできない遊び（一緒に遊ぶと楽しい遊び）を取り入れることで、児童同士が関わり合う場面が見られた。また、他の遊びをしている友達の姿を目にするこ
とで、あまり関心がなかった遊びにも取り組もうとする様子が見られた。

授業作りのポイント 3 「自己選択・決定ができる場面を設定する」
〈具体化〉・子どもの選択, 決定を尊重する

自分で活動を選択できる場面を設定する

金魚釣りが
やりたい!



何匹釣れるかな?

【実践の紹介】

・夏祭りをテーマにして、屋台等で食べるもの、遊べるものといったテーマを複数設定し、作る機会を設けた。作り終わったら、それらを使って自由に遊ぶことができる時間を設定した。

【実践を振り返って】

・夏祭りの楽しさやワクワク感を共有しながら、遊ぶことができた。自分で自由に選択できることを尊重することで、意欲的に遊びに取り組む様子が見られた。

授業作りのポイント 3 「自己選択・決定ができる場面を設定する」
〈具体化〉・新奇性, 発展性のある活動や教材を準備する

新奇性, 発展性のある活動を提案する

ぼくが、ころがしても
いいかな。



ボール, くるかな?

【実践の紹介】

・樋(とい)を用意し, 協力して傾けることで, ボールがゴールまで転がる遊びを, 新たに提案した。役割交代しながら, 傾斜の角度を考えてボールを転がすのを楽しめるように設定した。

【実践を振り返って】

・新しい遊びに興味をもつ児童が多く, 「転がしてみたい」と伝える姿が見られた。また, かごにボールが入る様子を見て楽しんだり, 傾斜を考えて勢いを付けて転がしたり等, 各自の発想から遊びが発展していく様子も見られた。

授業作りのポイント 3 「自己選択・決定ができる場面を設定する」
〈具体化〉・自由度の高い活動を設定する

自由度が高く、選択肢の多い活動を設定する

何で作ろうかな。



それいいね!

【実践の紹介】

・「街にあるもの」を作るというテーマを示した。児童がそれぞれに考え、作りたいものを作れる学習場面を設定した。その際、自由に組み合わせて作る楽しさを味わうことができるように、様々な材料を用意した。

【実践を振り返って】

・セロハンで魚屋を表現する児童、箱を重ねて二階建てを表現する児童、赤、青、黄の色紙を丸めて信号機を作る児童など、様々なものを作る様子が見られた。また、友達の使っている材料を、自分の作品に取り入れる様子も見られた。

授業作りのポイント 3 「自己選択・決定ができる場面を設定する」
〈具体化〉・活動の文脈を踏まえて、子どもの表出を予測する

遊びのテーマを共有する

これ、ください。



はい、わかりました。

【実践の紹介】

・買い物をテーマにして、お店にあるものを作ったり、それら使って遊んだりした。遊びのテーマを、絵本の読み合いによって共有することで、互いの思いを予測することができ、やり取りを重ねることができた。

【実践を振り返って】

・音声言語だけでなく、表情や仕草によって、いろいろな表現をすることができた。教師にとっては、遊びの枠組みがあることから、思いを受け止めやすい状況となり、やり取りが活発にできたのだと思われる。

授業作りのポイント 3 「自己選択・決定ができる場面を設定する」

〈具体化〉・「やってみたい」は複雑な気持ちであることを踏まえて推察する

複雑な気持ちであることを踏まえて推察する

思い付いたけど
緊張しちゃう・・・



こんな振り付けは
どうかな!?

【実践の紹介】

・歌詞に合わせた振り付けを、クラス全員で考える学習を計画した。分かりやすく課題を設定することで、考えを思い付くように配慮した。一方で、発表に躊躇してしまう児童がいることにも配慮して、対応した。

【実践を振り返って】

・直感的に振り付けをして、楽しむ様子が見られた。ただ、表現することを躊躇してしまう児童もいた。どんな動きがよいかを丁寧に聞き取ったり、友達のみねをしてみたりするなかで、少しずつ「自分だったら」というものを表現できる様子が見られた。

授業作りのポイント 4 「他者の思いに触れる機会を設定する」
〈具体化〉・気持ちに寄り添いながら、友達の遊びにも誘ってみる

友達の遊びに誘う

こういうのは
どう？



ぬるぬるの感触
楽しいな

【実践の紹介】

・一枚の大きな紙を使って、みんなで絵の具遊びをした。教師や友達の活動を見合えるように、紙の長さを調整した。互いのやっている様子が見え、友達が何を楽しんでいるのかを伝えるなかで、友達のやっている遊びに誘うような言葉を掛けた。

【実践を振り返って】

・複数の絵の具を混ぜた時に色が変わる様子を楽しむ様子が見られた。また、自分とは異なる絵の具遊びをしている友達の姿を目にしたり聞いたりすることで、表現の仕方をまねて、やってみる児童もいた。

授業作りのポイント 4 「他者の思いに触れる機会を設定する」
〈具体化〉・本人の見方とは異なる見方を伝える

友達の考えた遊びを一緒にする場を設定する

ジュースのスタンドに行こう！



いいよ。

【実践の紹介】

・二人で乗ることのできる「かたつむりタクシー」をダンボールで作り、児童同士の関わり合いが生じるように設定した。運転手役と乗客役を決めて、友達とやり取りをしながらタクシーごっこをした。児童の発想を大切にしながら、やり取りを重ねた。

【実践を振り返って】

・役割を決めることで、それぞれが演じる役割の楽しさを感じていた。また、目的地に行く遊びだけでなく、一人が人形を動かして逃げ、もう一人がタクシーで追い掛けるといった鬼ごっこのような遊びへの発展も見られた。

授業作りのポイント 4 「他者の思いに触れる機会を設定する」
〈具体化〉・本人の見方とは異なる見方を伝える

活動の途中に「みてみてタイム」を設定する

これどう？



これこうやるの？
いいね！

【実践の紹介】

・友達が作った作品に注目し、友達の良さや新たな発想が生まれることを意図して、「みてみてタイム」を設けた。「見る一見せる」というように分けることで、より注目できるように配慮した。

【実践を振り返って】

・自分とは異なる方法で作った作品に対して、じっくり見たり、ちらっと見たりと、それぞれの見方ではあったが、見ていた。その後の材料の選択や、発想につなげる児童がいた。

実践紹介カード (中学部)

実践紹介カードの説明

- ・「対話性を重視した学び」に基づいた授業作りにおいて、実践で取り組んだことをまとめました。
- ・「授業作りのポイントの具体化」で示したものの一部について、実践を紹介しております。
- ・中学部の授業作りのポイント
「友達の考えを受け止め、選択・行動する力を育む授業作り」

ポイント1 意欲を喚起できるような工夫をする

ポイント2 自分の考えを表現する場面を設定する

ポイント3 他者の考えを分かりやすく提示する

ポイント4 発表・確認する場面を設定する

授業作りのポイント | 「意欲を喚起できるような工夫をする」
〈具体化〉・楽しめる状況作りをする(思わず〇〇したくなる工夫)

思わず体を動かしたくなる状況作りをする



【実践の紹介】

・「投げる・捕る・蹴る動きを選んでやってみよう」の授業では、それぞれの動きを引き出すために、目標となる的などを準備するとともに、誰でも取り組めるような状況作りを行った。

【実践を振り返って】

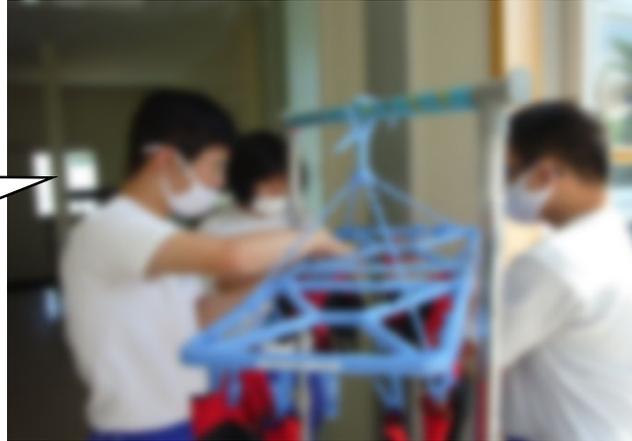
・意欲をもって、投げる練習や蹴る練習などに取り組む姿が見られた。また、目標となる的があることで、動きの方向を伝えることにもつなげることができた。

授業作りのポイント | 「意欲を喚起できるような工夫をする」

〈具体化〉・これまでの経験, 生活とのつながりを意識した内容を考える

実際に体験したことを繰り返し行う機会を設定する

できたよ。



ここに洗濯ばさみ
をつけるといいよ。

【実践の紹介】

・使用した軍手を, 洗濯して干すといった活動を, 継続して行っている。一度学習したことを, 日常生活のなかで継続的に取り組めるように活動を設定した。友達と行うことで, 互いに良さを伝え合ったり, 教え合ったりする姿にもつながった。

【実践を振り返って】

・「できることはできるだけ自分でする」, 「自分なりにやろうする」という思いを引き出すことができた。また, 実際に体験することを通して, 生徒のできることを増やして, 自信につなげていきたい。

授業作りのポイント 2 「自分の考えを表現する場面を設定する」

〈具体化〉・思いをくみ取り, 安心して表現できる環境や雰囲気を作る

素直に伝え合える関係を作る

そうなんだ。



昨日, こんなことがあったんだよ。

【実践の紹介】

・楽しいこと, うれしいこと等, 友達に伝えたいという気持ちを大切にした関係性を大切にしました。一方で, 思い通りにならなかったときであったとしても, 互いに素直に言葉を伝え合えるような安心感をもてるよう配慮した。

【実践を振り返って】

・普段から互いの思いを伝え合えるように, 関係性を作っておくことで, 授業場面での伝える力につながると感じた。

授業作りのポイント 2 「自分の考えを表現する場面を設定する」
〈具体化〉・自分から発言したり行動したりできることを保障する

次に学習したいことを自分で決める場面を作る

「結び」の工程に進みたい。



友達と同じ工程をがんばりたい。

【実践の紹介】

・作業において、教師から見ると少し難しいと思える「結び」の課題であったが、友達と同じ工程を「やってみよう」という意欲が見られた。その意欲を尊重するとともに、少しでも一人で活動できるようにといった状況作りを設定した。

【実践を振り返って】

・教師が「難しい」と判断したことでも、意欲を尊重して取り組んだことで根気強く活動する様子が見られた。「友達のやっていることをやりたい」等、一人一人の思いに寄り添って学べる状況を作ることが必要だと感じた。

授業作りのポイント 2 「自分の考えを表現する場面を設定する」
〈具体化〉・教師が仲介, 代弁しながら, やり取りを重ねる

自己決定に至るまで, 教師とのやり取りを重ねる

…〇〇さんは, 織り
続けるんだ…



全部自分で織った
マットを作ります。

【実践の紹介】

・マット織りの作業では, まず練習用から始める。練習用が途中までできたので, 「このまま練習用を続ける」か「最初から織り始める」か考えた。教師は, 友達の様子を伝えたり, 本人の思いを確認しながらも, 最後は本人の決定を尊重した。

【実践を振り返って】

・実際にやってみての見通し, 友達の様子, 一から作りたいという思い等について, 教師は丁寧にやり取りを重ねた。そのなかで, 自分の思いがはっきりとしてきたのだと思われる。納得して判断した様子が見られた。

授業作りのポイント 3 「他者の考えを分かりやすく提示する」
〈具体化〉・物を介して、考えを伝え合う場面を設定する

写真を介したやり取り場面を設定する

神社にあった
ものかな？



これはどこの写真
かな？

【実践の紹介】

・二人組を作り、校外学習で見学した施設について、まとめをした。実際に目にした場所について振り返り、どの施設だったのかを二人で判断した。写真を活用することで、言葉だけでなく、指さし等でも伝え合えると考えた。

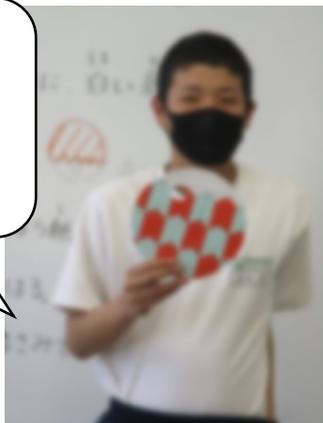
【実践を振り返って】

・写真を介して、互いの思いや気付いたことを伝え合っていた。写真に含まれる思いや気づきを共有したり、伝え合ったりするためには、必要に応じて、教師が仲介や代弁をすることも必要だと感じた。

授業作りのポイント 3 「他者の考えを分かりやすく提示する」
〈具体化〉・友達の良いところを探す機会を設ける

友達の作品の良いところを発表する場を設ける

〇〇さんの模様が
きれい



〇〇さんの色が
きれい

【実践の紹介】

・作品制作の振り返りでは、自分の作品について頑張ったところや気に入ってるところを発表した。発表を踏まえ、教師は作品の良さを分かりやすく伝えた。視点を示すことで、友達の作品の良さへの気づきが生まれることを期待した。

【実践を振り返って】

・自分の頑張ったところや気に入っているところといった観点のみならず、友達の作品から得た観点を基に発表する様子も見られた。それぞれの良いところに気付くためには、視点を得ることが必要であり、日々積み重ねる必要があった。

授業作りのポイント 3 「他者の考えを分かりやすく提示する」

〈具体化〉・気づきを共有できるよう、イメージ、注意、活動、情動の共有を重ねる

注目してほしいポイントを、さまざまな形で提示する

おおきいね



いちごの像は、
これくらいの
大きさだったね。

【実践の紹介】

・一人の生徒が、いちごの像の大きさに注目して調べた。調べたことを発表する際に、いちごの像と一緒に撮影した写真を見ながら感想を伝え合ったり、実物大の大きさを示したりすることで、友達と大きさに関する理解を共有できるようにした。

【実践を振り返って】

・「大きかったね」という言葉だけでなく、写真に並んで写る生徒といちごの像の比較であったり、実際の大きさを目に見えるかたちで提示したりすることで、「大きい」という意味を、具体性をもって共有できたと感じた。

授業作りのポイント 3 「他者の考えを分かりやすく提示する」

〈具体化〉・気づきを共有できるよう、イメージ、注意、活動、情動の共有を重ねる

多側面から知識に触れる機会を作る



力強く打ったり、
ねらいを定めて
やさしく打ったり。



トマトの葉を触った後に
石鹸で手を洗うと、緑色
の水になるよ。

【実践の紹介】

・名前を知っているものであっても、その特徴については知らないことも多い。普段の何気ない会話のなかに、少しずつ知識に触れるような機会をもつことを大切にしました。また、動きの理解では、対になる言葉を示して理解を広げることも大切にしました。

【実践を振り返って】

・ことばとともに、実際に体験することが、ことばの理解を広げる助けになる。また、そのような体験の積み重ねが、日常のなかにある不思議に対して、「おもしろい」と感じるきっかけにもなると思った。

授業作りのポイント 3 「他者の考えを分かりやすく提示する」
〈具体化〉・出された意見などをまとめて、整理して提示する

意見を整理して板書する

友達に「どうぞ」と
言って出しました。

やさしくコップに
注ぎました！



【実践の紹介】

・相手を意識した手伝いを考える授業では、それぞれのロールプレイを見て気付いたことを発表した。教師は、それらの意見を整理しながら板書することで、生徒の発言等が見えるようにした。

【実践を振り返って】

・音声言語は消えてしまうことから、整理しながら板書をしたことで、様々な意見を見比べながら振り返ることができた。一方で、言葉だけでは伝わらない生徒に対応する方法の検討も必要であった。

授業作りのポイント 4 「発表・確認する場面を設定する」
〈具体化〉・発表の機会を積み重ねる

興味をもったことを友達に伝える場面を設定する

狛犬がどうして
2匹いるのか
気になりました。



ここまでで質問は
ありますか。

【実践の紹介】

・自分にとって関心のあることは、「(面白さを)伝えたい」、「一緒に楽しみたい」などの思いがつかまっている。校外学習の振り返りでは、言葉だけでなく、撮影した写真など、自分にとって伝えやすい方法で、友達に伝える場面を設定した。

【実践を振り返って】

・普段はあまり話をしない生徒でも、写真であれば、自信をもって伝えることができた。表現しやすい方法が、安心感や自信につながるのだと感じた。

授業作りのポイント 4 「発表・確認する場面を設定する」
〈具体化〉・目的や意見が共有できるよう工夫する

友達と一緒に、相違を比較して判断する機会をもつ

これ引っこ抜いて
いいのかな



これは雑草だから
取っていいと思う

【実践の紹介】

・苗が育って、雑草が生えてきたので、草むしりを行った。教師は「雑草は取ってね。苗はそのまましてね」と説明した。苗なのか、雑草なのか分からないときには、友達に尋ねて、相違を確認してから除草を行う姿が見られた。

【実践を振り返って】

・「間違っって苗を抜かないように」という生徒たちの思いが感じられた。自分たちが育てている苗への思い入れがあるからこそ、実際の苗の形を見て確認し合い、慎重に除草を行う姿につなげることができた。

授業作りのポイント 4 「発表・確認する場面を設定する」
〈具体化〉・発表の順番を工夫する

発表の順番に配慮する

発表したい！
できるかな？



気を付けて、〇〇
をがんばりました。

【実践の紹介】

・問われている答えは分かっていたとしても、なかなか答えることができない場合もある。緊張したり、間違ったらどうしようなどと不安に思ったりする気持ちを踏まえ、状況に応じて安心して発表できるよう、発表順を検討した。

【実践を振り返って】

・絵カードを使った学習において、答えは分かっているが、挙手して発表することができない生徒がいた。そこで、先に他の生徒を指名した。発表をして賞賛を受けるその生徒の様子を見たことで見通しをもてたのか、次に発表することができた。

実践紹介カード (高等部)

実践紹介カードの説明

- ・「対話性を重視した学び」に基づいた授業作りにおいて、実践で取り組んだことをまとめました。
- ・「授業作りのポイントの具体化」で示したものの一部について、実践を紹介しております。
- ・高等部の授業作りのポイント
「自分の考えを整理し、表現する力を育む授業作り」

ポイント1 安心して取り組める環境を作る

ポイント2 考えを表現したり、他者の考えを受け止めたりする場面を設定する

ポイント3 考えが深まるような学習課題と発問を工夫する

授業作りのポイント | 「安心して取り組める環境を作る」

〈具体化〉・日々の関係作りを大切にする(互いを尊重して聴き合える関係作り)

安心して話ができるグループを編成する

気心知れた仲だから、
話しやすい。



いろいろな考えを
聞けていいな。

【実践の紹介】

・生徒が安心して自分の考えを表現できることで、話し合い活動が活発になることを期待して、人間関係や特性を考慮してグループ編成をした。

【実践を振り返って】

・話し合いのなかで良い意見が出たときに、それをどう拾って深めていけるかが重要だった。そのために、教師は仲介したり、代弁したりすることが必要となる。また、話し合いの中心となる生徒が、進行できるような手立ても必要であると感じた。

授業作りのポイント | 「安心して取り組める環境を作る」

〈具体化〉・人数, 相性, 実態, 目的等に応じてグループ編成を工夫する

興味関心に基づいたグループを編成する

日光駅付近で
おいしいものが食べら
れるところはどこかな？



ソフトクリームを食べたい人
がもう1人いたぞ。

【実践の紹介】

・校外宿泊学習の班別活動のグループ分けを, 行きたいところが同じ生徒同士で組むようにした。班ごとに行き先を決めるときには, 自分の希望を書いたふせんを, 地図上に貼るかたちで伝え合う状況を作った。

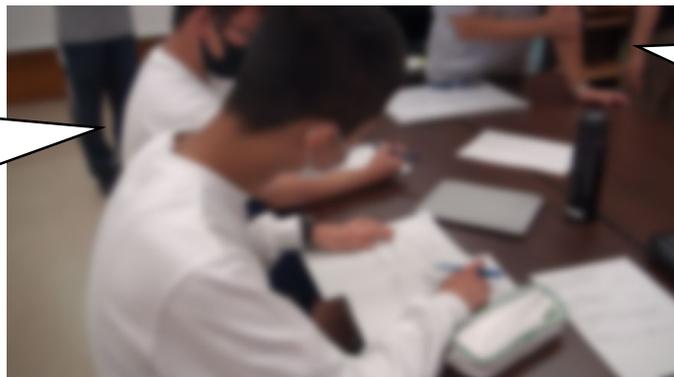
【実践を振り返って】

・旅行雑誌やインターネットを利用し, 楽しい雰囲気の中かで行き先を考えたり, 決めたりすることができた。安心して自分の行きたい場所をふせんに書くことができたことで, グループの仲間にも伝えたいという思いが見られた。

授業作りのポイント 2「考えを表現したり, 他者の考えを受け止めたりする場面を設定する」
〈具体化〉・様々な伝え方を提案・確認する

「話型シート」を活用する

意見の伝え方が
よくわかるね。



自分の意見が
伝わるといいな。

【実践の紹介】

・話し合い活動の際に, 生徒の表現する力を支援するために, 「話型シート」を作成した。自分の考えた意見とその理由を答える話型を示すことで, 安心して表現できるのではないかと考えた。

【実践を振り返って】

・実際の話し合いの場面では, 「話型シート」にこだわるあまり, 話し合いが深まらないグループがあった。話し合いにおいて, 生徒から注目したい意見が出てきたら, 教師はすかさず取り上げる等, 話し合いが活発になるための仲介も必要であった。

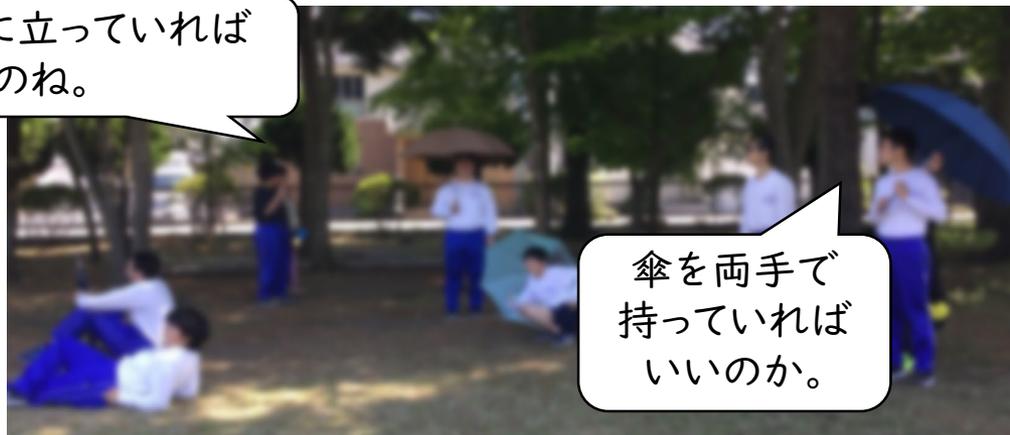
授業作りのポイント 2「考えを表現したり, 他者の考えを受け止めたりする場面を設定する」
〈具体化〉・様々な伝え方を提案・確認する

対になる関係性を活かして活動を設定する



ここに立って
いければ
いいのね。

この人みたいに
傘を両手で
持っててね。



傘を両手で
持っていれば
いいのか。

【実践の紹介】

・名画になりきるというテーマで, 撮影者と被写体という役割を設定して取り組んだ。撮影者は被写体役の生徒に対して, 名画を見ながら, 立ち位置やポーズを見比べて, 伝えた。被写体役は, 指示や画面を通して, ポーズなどを確認した。

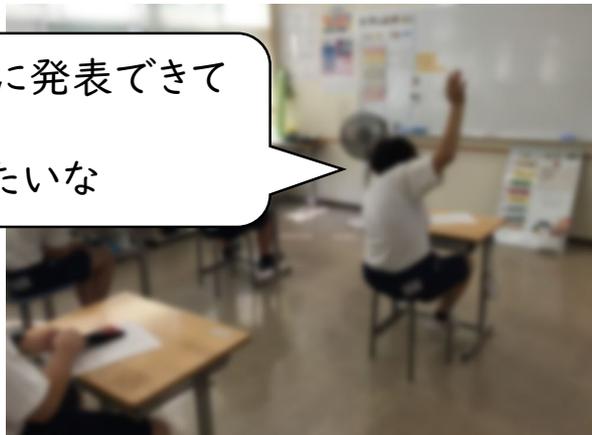
【実践を振り返って】

・撮影において, どの名画を選ぶか, どのポーズの人物になるのかを, クラスの友達と選んだことで, 全員の意欲が高まった。そのため, 撮影者からのアドバイス(立ち位置やポーズ)を受け入れて, 写真を撮ることができた。

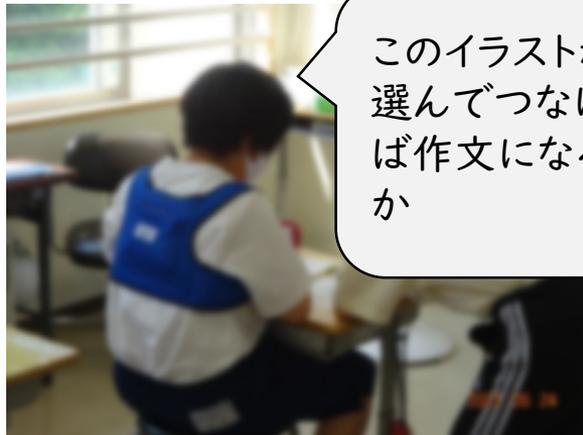
授業作りのポイント 2「考えを表現したり, 他者の考えを受け止めたりする場面を設定する」
〈具体化〉・生徒の実態に応じた表現方法を保障する

実態に応じたワークシートを活用する

みんな上手に発表できているな。
私も発表したいな



このイラストから
選んでつなげれば
作文になるのか



【実践の紹介】

・月曜日の朝は, クラス全員で週末の出来事について作文を書いている。「思い出す」, 「書く」, 「発表する」という流れで行っている。その際, 実態に応じてワークシートを活用することで, 一人一人が表現できる手段を保障した。

【実践を振り返って】

・前日や前々日の出来事であるため, 思い出すことが容易であり, 書く内容を整理しやすく, スムーズに作文に取り組めた。「書いたことを読む」という発表の仕方にしたことで, みんなの前でも安心して発表することができていた。

授業作りのポイント 2「考えを表現したり, 他者の考えを受け止めたりする場面を設定する」
〈具体化〉・自他の意見を見比べるために, 可視化する

互いの意見を共有するために可視化する

さっきの意見は
こんな内容
だったんだな。



見比べると,
いろいろな意見が
あるね。

【実践の紹介】

・話し言葉は, 消えてしまう情報である。話を聞くにあたり, その情報を保持し続けることは難しい。そこで, 生徒から出た意見を整理して板書することで, 意見を比べたり, 選んだり, まとめたりする等して, 話し合いが広がると考えた。

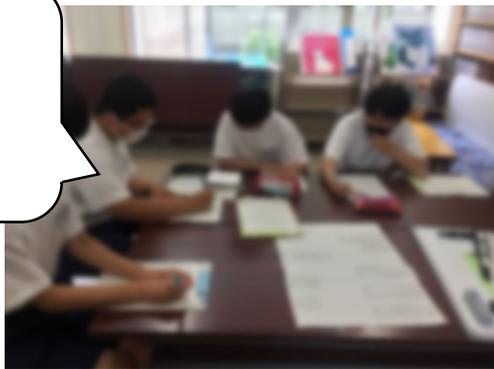
【実践を振り返って】

・可視化した意見を確認することで, 自分の思いや考えと同時に, 仲間の思いや考えを見ることができた。これは, それぞれの思いや考えを共有したり, グループで意見をまとめたりする際に, 有効であった。

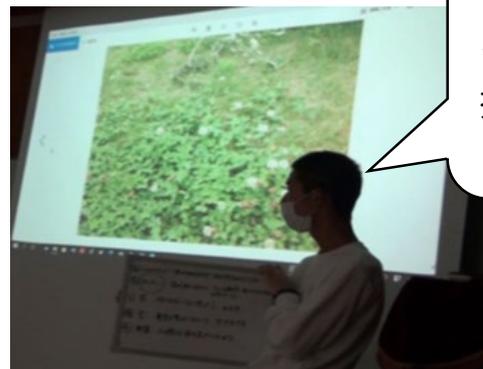
授業作りのポイント 2「考えを表現したり, 他者の考えを受け止めたりする場面を設定する」
〈具体化〉・自他の意見を見比べるために, 可視化する

自他の考えを比べるための手立てを工夫する

自分の意見と比べてみよう。



グループとして
提案する写真です。



【実践の紹介】

・自分の考えと仲間の考えを書き込むためのスペースがあるワークシートや, 考えに最も適した写真を選んで見合う機会など, 自他の考えを比べるための手立てを工夫した。

【実践を振り返って】

・話をするだけでなく, 視覚的な情報(文字, 写真等)を交えて自他の考えを比べることで, じっくりと考える姿につながる事ができた。その際, 可視化した情報が, 互いに分かるように, 教師が代弁したりすることも必要であった。

授業作りのポイント 2「考えを表現したり, 他者の考えを受け止めたりする場面を設定する」
〈具体化〉・教師が仲介する(意見をつなぐ, 代弁する, 言葉を補う, 情報を整理する)

生徒同士で考えることができるよう, 教師が仲介する



私は、「ウ」の
上の部分ね。
このまま止まって
いればいいのね。

私は、「ウ」の
ここね。足を
こっちに置けば
いいのね。



私が「ネ」の
ここをやるから、
二人は、頭を
近づけて
真っ直ぐね。

真っ直ぐ。

【実践の紹介】

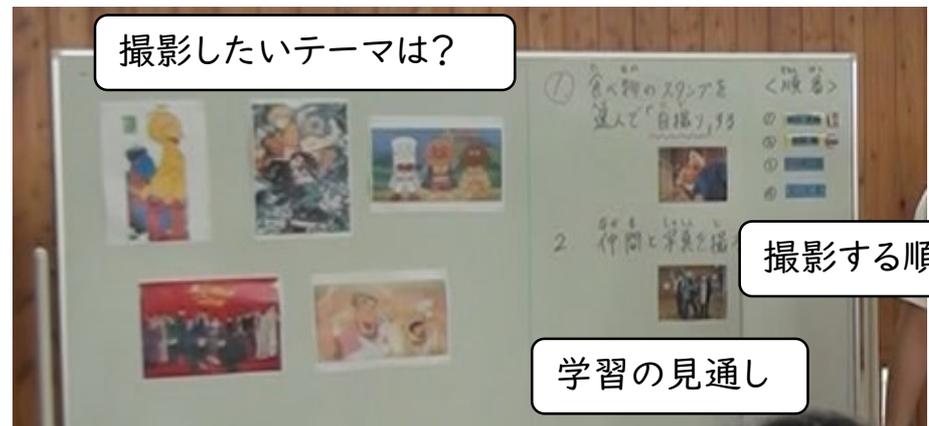
・友達と一緒に人文字を作った。二人で取り組み, お互いの位置やポーズを確認しながら進めた。はじめは教師が仲介しながらも, 徐々に減らすことで, 友達同士でポーズを考えながら, 人文字を作った。

【実践を振り返って】

・表出言語が少ない生徒も, 表情や身体表現によって, いろいろな思いを示す。教師はそれらを言語化して, 生徒同士をつなぐことで, 互いに思いや考えを受け止めて活動に取り組むための素地が作られていくと感じた。

授業作りのポイント 3 「考えが深まるような学習課題と発問を工夫する」
〈具体化〉・学習課題を明確に、かつ焦点化して示す

授業の導入と板書は、分かりやすく提示する



【実践の紹介】

・写真アプリを使う授業では、どのような写真を撮るかを、分かりやすく示した。また、意欲の喚起、課題への注目などを考慮して、生徒の興味関心の高いものを取り入れたり、カード等でスケジュールを示したりした。

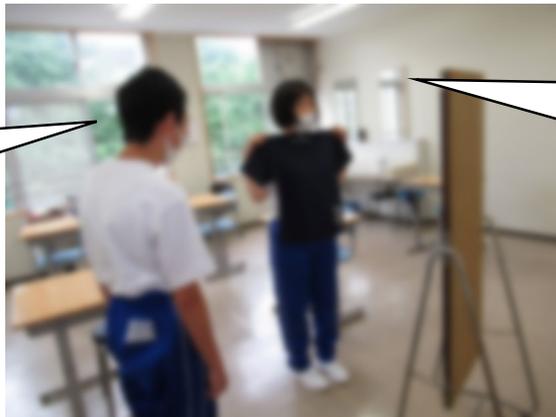
【実践を振り返って】

・課題を明確に、しかも興味のあるテーマを活用することで、「何をするのか」が分かると、「こんなことをしてみたい」という思いがどんどん出てくる授業につながると感じた。

授業作りのポイント 3 「考えが深まるような学習課題と発問を工夫する」
〈具体化〉・身近で、実生活とつながりのある学習課題を設定する

実生活に活かせる学習を設定する

この色、似合っているよ。



休みの日にも、この色の洋服着てみようかな。

【実践の紹介】

・実際に様々な色の布を用意し、似合う色について考えながら鏡で確認した。「よく着る色」、「似合う色」、「友達から見て似合う色」を比較し、その理由を聞く場面を設定した。自分が考えた色以外でも、似合う色を知ることができるようにした。

【実践を振り返って】

・実際に布を当てて鏡で確認することで、客観的に似合う色を見付けることができ、その理由まで考えることができた。また、友達から似合っているといわれた色の服を着てみたいと、感想をもつ生徒もいた。

授業作りのポイント 3 「考えが深まるような学習課題と発問を工夫する」
〈具体化〉・前向きに取り組める目的や学習課題を設定する

仲間同士でイメージを共有できる環境を作る

いいねえ～

このポーズ？



【実践の紹介】

・「写真アプリを使おう」の授業では、互いの撮影ポーズや役割に注目できるように、大型モニターを活用しながらやり取りを重ねた。また、撮影のテーマを選ぶ際、カード化して示したことで、互いの思いを共有した上で活動できると考えた。

【実践を振り返って】

・大型モニターに映る姿を確認することで、仲間の撮影ポーズをまねたり、全員でポーズを揃えたりしようとする場面が多く見られた。自分の好きなキャラクターになりきれるといった目的を、みんなで共有できたことで、意欲的に取り組んでいた。

授業作りのポイント 3 「考えが深まるような学習課題と発問を工夫する」
〈具体化〉・考えるためのヒントを示す

考えるためのヒントと多様な意見を大切にする



(へびのしっぽを考えるために)
おしりはどこかな?

【実践の紹介】

・「へびの尻尾は、どこからか?」という問いに対して、それぞれが思ったことを答えた。その後、「お尻はここです」というヒントを基に、それぞれがさらに考える様子が見られた。

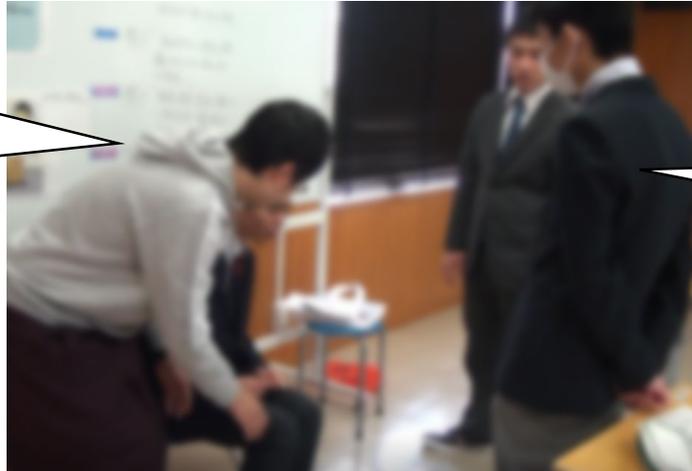
【実践を振り返って】

・何らかの知識(ヒント)を基にして答える姿は、考える姿ともいえる。「なぜ?」、「何だろう?」という疑問と、考えるための知識(ヒント)、そしてみんなで考えることで生まれる多様な意見が、考えを深めるためには必要であった。

授業作りのポイント 3 「考えが深まるような学習課題と発問を工夫する」
〈具体化〉・考えを揺さぶる発問をする

ロールプレイの状況を変えることで、考えを揺さぶる

ここにハンカチが
落ちたらどうする？



どうしようかな？

【実践の紹介】

・「異性との関わり方」の授業では、相手のことを考えながら、近づき過ぎないことを学んだ。それを基に、例えば電車の中で、異性の近くにハンカチを落としてしまったときに、どう対処すればよいのかを、グループの仲間と考えた。

【実践を振り返って】

・知識がそのまま活かせる状況ばかりではない。状況に応じて、より適切な判断を考え、行動にうつすことが大切になる。教師からの発問だけでなく、生徒自身からも「こんな状況だったら？」と考えを深める姿が見られた。

授業作りのポイント 3 「考えが深まるような学習課題と発問を工夫する」
〈具体化〉・活動を通して考えられるよう工夫する

活動を通して、話し合う場面を設定する

〇〇した方がいいと思うよ。



その意見いいね。
やってみよう。

【実践の紹介】

・「学部のPR動画を作ろう」の授業では、撮影中に良いアイデアを思いついたら、グループの仲間と話し合った上で取り入れてよいことにした。多様なアイデアを引き出せるように小道具も準備する等、表現の幅を広げられるようにした。

【実践を振り返って】

・仲間同士で話し合い、撮影役と生徒役に役割分担して、撮影をした。テーマを決めて、撮影したものをすぐに確認して話し合う等の様子が見られた。そこで出たアイデアを取り入れるなどして、意欲的に撮影を続けた。

授業作りのポイント 3 「考えが深まるような学習課題と発問を工夫する」
〈具体化〉・評価場面（振り返り等）を学習機会として大切にする

観点を踏まえて振り返る機会を設ける

みんなに良かった
ところを見て
もらえてうれしい!

この拭き方
いいですね!



私もいいと思います。

【実践の紹介】

・振り返りの観点を予め提示した上で、清掃作業中の動画や写真を大型モニターに映し出し、生徒同士で良い点を伝え合った。教師は、その動画や写真に印を付けながら発問することで、仲間の良い点に気づき、答えやすくなるようにした。

【実践を振り返って】

・それぞれが自分や仲間の良い所を認め合うだけでなく、積極的に自分の改善点を考え、仲間に伝えようとする姿が見られた。評価する観点を示した上で、生徒一人一人の「気づき」を引き出すための発問の展開とやり取りの積み重ね、生徒同士でやり取りする機会の保障が評価場面では大切だと感じた。